

特集 丹羽療法 治療レポート

丹羽鞠負(耕三)医学博士 講演

がん治療 究極の選択

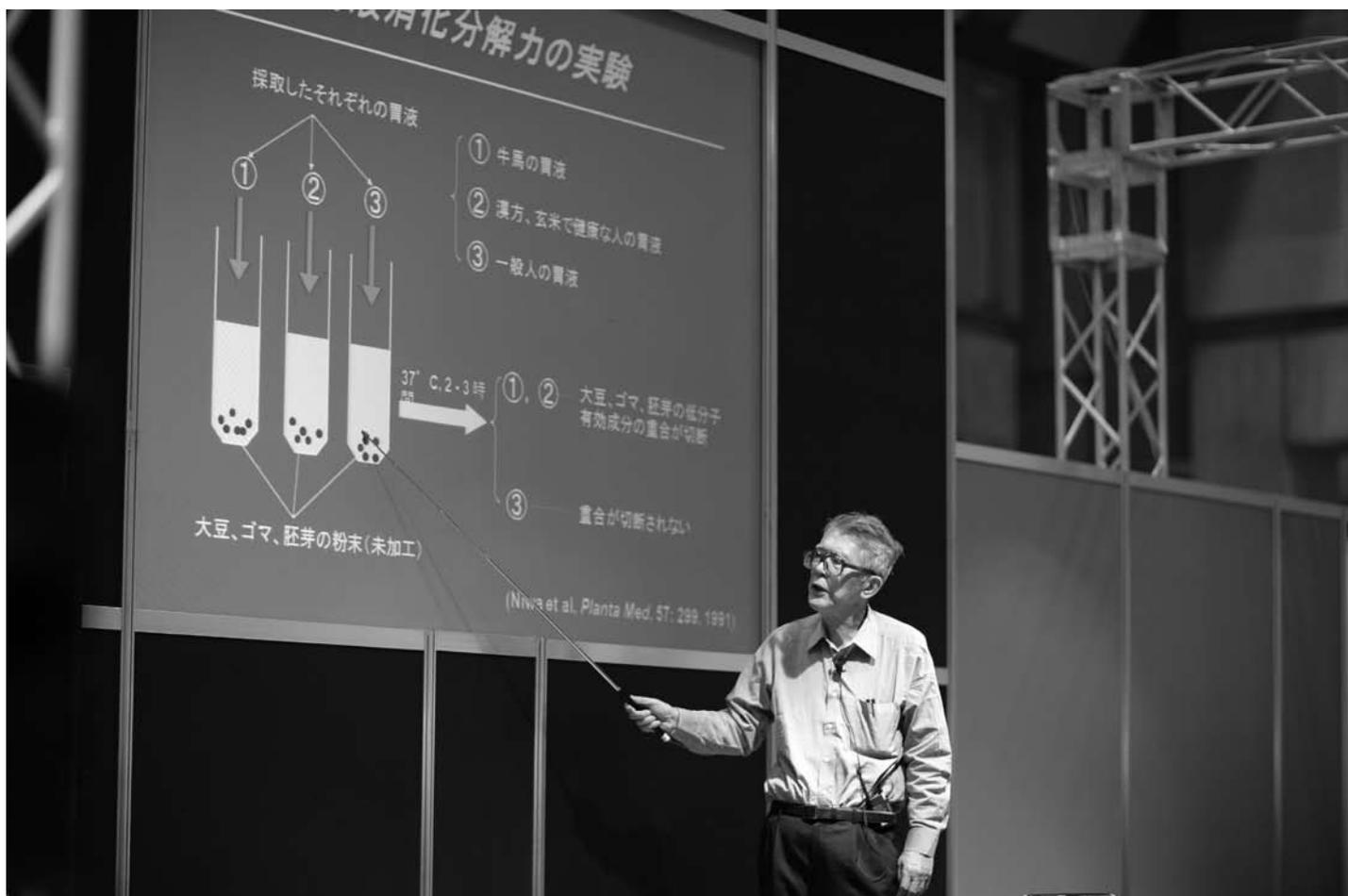
活性化生薬で

苦しまずに延命できる医療

健康博覧会 2009/03/12

日本SOD研究会報

発行元 日本SOD研究会 藤沢
住所 〒154-0012
東京都世田谷区
駒沢 5-13-1-205
TEL. 03-5787-3498
<http://www.SOD-jpn.org/SOD>





いって与えられたSODが足りなくなつたのです。アトピーが昔に比べて治りにくくなつてきているのも、人間の身体を攻撃して環境汚染物質によるできすぎた活性酸素が人間の皮膚を攻撃しているからです。同様に、がん、膠原病、SLE (SLEとは全身性エリテマトーデス。自己免疫疾患のうち、代表的なものが膠原病で、膠原病のうちもっとも多臓器にわたるのが特徴なのがSLE。自己抗体や免疫複合体の出現等に基づく多臓器障害

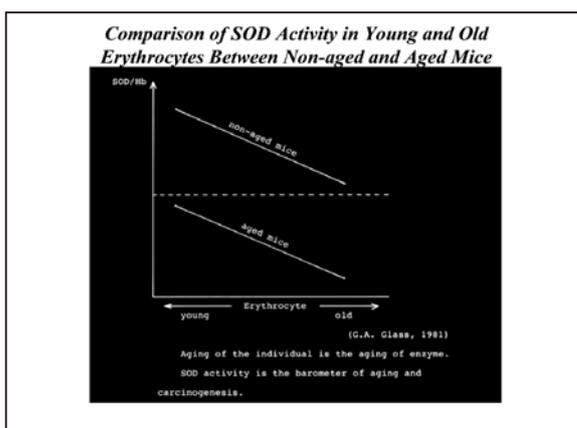
を主徴とする疾患である)の増加も、環境汚染による活性酸素の増大が原因の大きな要因です。

活性酸素を撃退する

SODの力は

年と共に減少する

◆表を見ていただきたいのですが、



ねずみの赤血球に含まれるSOD値

これは若いねずみと年を取ったねずみの赤血球に含まれるSODの高さを調べた結果です。これを見ると、若いネズミの赤血球はSODが高いです。そして年をとってきたらSODが減ってきます。た

だ、年とったネズミのいちばん若い赤血球のSODよりも、若いネズミの年とった赤血球のSODのほうが高い。つまり、人間は若いと活性酸素を取り除いて病気が防げるわけです。これは、老化とSODがきれいに平行して、老化したらSODの機能が落ちてきて病気になるというおもしろい結果です。先ほども言いましたが活性酸素はうまく結合して過酸化脂質を刺激します。これは傷口なんかにどんどんできるんですよ。で、やはり若い患者の過酸化脂質は、SODを増やす力があるからあまり悪さをしない。年とった患者さんの傷口は、SODの力が弱い。だから、若い人よりもどんどん活性酸素が出てきます。元気な人でも過酸化脂質は高いんです。でも、SODの力が高いから病気になるんです。逆に病気になったらSODを作る力がないから、上がってき

た活性酸素でやられます。

同じ赤血球でも年をとった人と若い人とは、SODがちがうぞと。調べてみたら若い人も赤ちゃんも年寄りでも、ほとんどSODの量は変わらないんです。ところが、活性酸素による過酸化脂質が上がって、いざ溜まったというときにSODの量はいっしょだけ、力が違うんです。それをSODの誘導活性といいます。量はいっしょでも誘導活性が違うわけです。

だから、活性酸素が出て、過酸化脂質が増えて悪さをするとき、SODが上がる力があるかどうか、それが大事なんだということです。

「SOD induction

◆丹羽先生診察ご希望の方は御紹介、御予約いたします。

※自由診療となります。

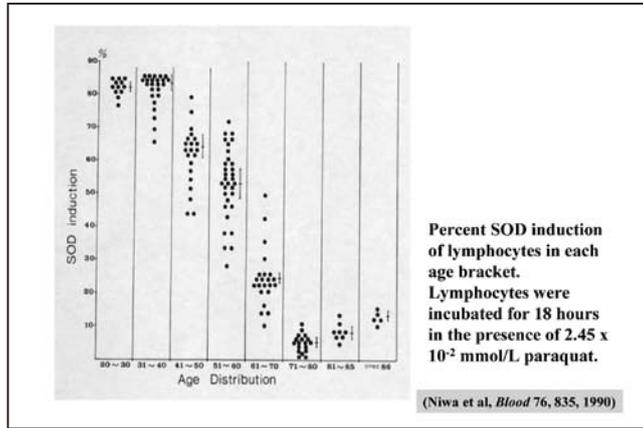
丹羽メディカル研究所
0120(731)175

もしくは

日本SOD研究会
03(5787)3498

まで お電話ください。

(SODの誘導)」という表のように、40歳を過ぎるころからSODの誘導活性は落ちてきます。



年齢別SODの誘導活性

50歳代になるとさらに減る。60歳代になると、もう若い人の4分の1か5分の1に減っちゃうんですね。70歳、80歳になるとめちゃくちゃになる。ところが80歳を過ぎて表の数値が上がっているから、発表の場で、なんでそんな80過ぎたら上がるんだ」といわれました。いや、これは違うんだ。SODの力がある人だけが生きとんねん

(笑)。おのずと生きている人は少ない。でも、生きている人は力が若干強いから生きている。だから上がったように見えるんです。

1970年を境に がん、難病患者が 激増した

◆それで、僕はSODを何とか薬にしようと思ひまして、フランスの生化学研究所に行き、赤血球からSODを抽出したのを作ってもらったんです。人間は牛の肉を食う。だから牛の血液は捨てるんです。それを大量にもらつてきまして牛の赤血球からSODを抽出しまして、いよいよ厚生省の許可というところまでいったんです。そしたら、狂牛病です。僕はおそらく日本で狂牛病を知ったナンバー1ですね。僕がこれを作っていたとき、牧場で急に牛がプシャーンとへたばって起き上がれなくなった。どこを調べても悪くない。

そこで解剖してみたら、脳がボロボロ。ですから30年前から牛の血液から取った薬は一切製造中止になり、ポシヤってしまったわけです。せつかくここまで10年、20年と活性酸素、SODの研究をやってきたのに使えないとなり、ガツクリでした。



丹羽メディカル研究所のブースにて

SODが作れなくて困ったなどいつていたころ、1970年くらいにがん疾患がものすごく増加したんです。加えて膠原病、重症ア

トピー性皮膚炎も増加しました。原因は、1970年の地球の環境汚染が飽和状態になっていたからなんです。要するに以前は、活性酸素は人間の身体の中だけでできていた。それが環境汚染で大気中に化学物質をどんどん排出して、それらが人間の身体の中に入ってきて細胞の壁を傷つけてがん、膠原病をどんどん悪くすることを臨床血液学会が発表したんです。

僕が医者になって5年、10年は、30歳、40歳の肺がん・胃がん・胆のうがんはいなかった。がんと言ったらみんな60歳以上。どうしてかといったら、年をとるとみんな身体がボロボロになってくる。そうすると、細胞の遺伝子が崩れてくる。遺伝子が崩れてくると突然変異を起こしてがん化する。これががんの全てです。60歳以下のがん患者はほとんどいなかったんです。ところが私が医者になって5年、10年して、若い進行性のがんが増

え始めた。今までは自然に老化して細胞の核の中にある遺伝子が崩れてきてたのが、外から、環境汚染が活性酸素を出して、活性酸素が血液の中に入ってきて腎臓、肝臓、肺などの細胞を一方的に傷つけてがんを起こしている。それが60歳以下の発症につながっていたんです。すべては1970年の環境汚染が飽和状態になった年が始まりでした。

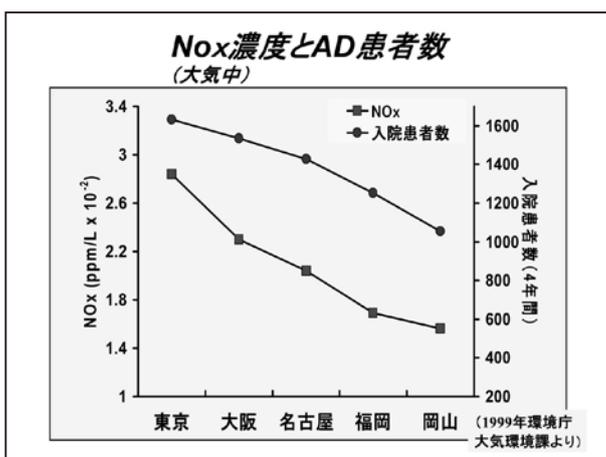
NOx濃度分布地図と難病患者分布地図が一致

一致

◆身体の外で活性酸素をボンボン出す汚染物質とはなにか。その汚染物質はほとんどが二酸化窒素です。これは、油を燃やした煙、自動車、ガソリンを燃やした煙、それから重油を焚いたあとに出る煙です。これらが活性酸素のいちばんの原因。自動車やダンプカーの排気ガスと工場の煙突の煙、製鉄

工場などのばい煙。これらが二酸化窒素を出して、この窒素酸化化合物(NOx)が活性酸素を出すわけですね。

もうひとつ、活性酸素を出す外的要因に紫外線があります。紫外線は当たるときに活性酸素を発生



させて、カビやばい菌を殺す殺菌作用があります。ところが、ご存知のとおり1970年の環境汚染をピークにフロンガスがオゾン層をむちゃくちゃ破壊して紫外線の量が昔と比べて5倍、10倍になっ

たわけです。だから、紫外線から発生する活性酸素もめちゃくちゃ増えてきたということです。自動車、ダンプカーの排気ガス、工場の煙突から出る煙、紫外線と、都会にいるみなさんは特に活性酸素にうずもれて生活していることに

体外で活性酸素を産生する汚染物質

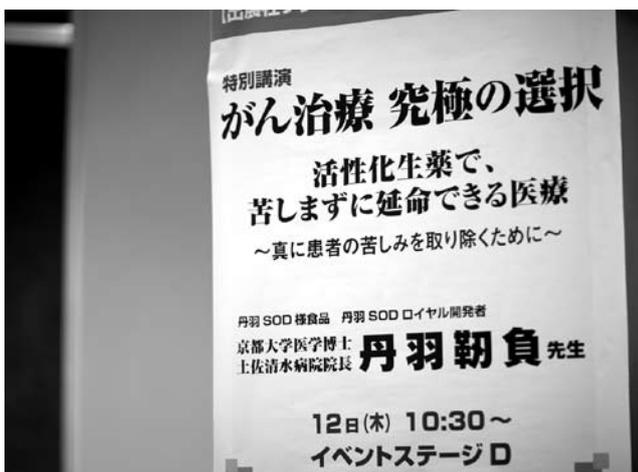
- NOx(窒素酸化物) ---自動車の排気ガス、重油を焚く工場の煙突の煙
- 紫外線(UV)---オゾン層の破壊で強力になり、発生する活性酸素も著しく増量
- その他-----農薬(除草剤、パラコート)、殺虫剤(スミチオン系)、ある種の医薬品(ある種の抗結核剤、抗生物質、抗癌剤、etc.)、塩素化合物(PCB、ダイオキシン、etc.)

日皮会誌, 103: 117, 1993
Arch. Dermatol., 130: 1387, 1994

なります。だから、がん、膠原病、アトピーになるのは当たり前です。よと。それ以外に、農薬・殺虫剤・医薬品・抗がん剤も、がん・膠原病を悪化させる要因ということ。私は30年位前から、大人になっ

ても治らないアトピーの重症患者、いろんなところを回って、食事療法を始めあらゆる治療しても、何をしても治らない患者さんを診ていました。ところが15年位前に私の治療法をテレビが聞きつけて、日本テレビ、TBSが何度も取材に来まして、ただでも忙しいのにテレビで紹介され、全国の重症・難病患者さんが全部、うちに集まりました。大忙しになりました。

今、厚生労働省の調査では、アトピー患者は全国で37万人いるそ



うです。当時、年間のうちの入院患者は3千人だったのが、全国の診療所も含めて10万人くらいの患者さんが押し寄せて、僕はめちゃくちゃ忙しかったけど、日本皮膚科学会に論文をまとめて発表したんです。そこに日本の地図を載せ、うちに来た患者さんがどの出身が多いか、日本地図に点を打っていった。そしたら、環境庁が1999年に大気中の窒素酸化物の濃度を測定した、その測定の1位から5位と、うちの患者の1位から5位がまったくいっしょだったんです。東京、大阪、名古屋、北九州、岡山。これは、決して人口の多い順ではない。4位の北九州は、北九州工業地帯で、八幡製鉄を始め、日本最大の製鉄工場が乱立している工業地帯。3位の名古屋と5位の岡山。これは共通した工場地帯がある。石油化学コンビナート。名古屋は西の端が四日市コンビナートで、東の端に世界

最大の自動車工場トヨタがある。岡山は水島コンビナートがある。西の端には日本鋼管という日本最大の製鉄工場がある。

窒素酸化物の濃度と難病はきれいに比例するということの証です。

コレステロール、 中性脂肪は高くても まったくかまわない

◆私は十何冊本を出していて、その本には必ず書いてあることなんです。診療所で診察していると、いつもこういう質問をしてくる患者さんが一人か二人はいます。

先生、近所のお医者さんから、コレステロール・中性脂肪が高い、中風、心筋梗塞になるおそれがある。お米を控えなさい、お肉を控えなさいと言われて、どうしましうって、おまけにごっそり薬をもらっているんです。

言いますよ。コレステロール、中性脂肪はいくら高くても直接、

中風、心筋梗塞は起こしません。コレステロール、中性脂肪が機械で測れないくらい高くても元氣なじいちゃんばあちゃんはいくらでもあります。逆に、コレステロール、



中性脂肪が基準値内よりもうんと低くて、中風、心筋梗塞になる人がなんぼでもおる。

活性酸素は単独でも悪さをしますが、これが脂肪と結合しますと過酸化脂質に化ける。これもまた

活性酸素と同じようなことする。活性酸素と過酸化脂質を比べると、活性酸素のほうがずっと力が強い。ただ、活性酸素はむちゃくちゃ強いけど、できて酵素の力であつという間に出て行く。過酸化脂質は一度体の中に出ると、腎臓からおしっこになって出て行かない。いつまでも体の中にあつて、組織や臓器の壁にへばりついて中にゆっくりと浸透していつて、1年、2年、3年たつて、組織や臓器を中からゆっくりと破壊していく。非常に強い。本当に体の中で悪さをしてるのは活性酸素よりも過酸化脂質のほうがなんです。

これは私の独断で言っているんじゃない。名古屋大学の過酸化脂質の研究では世界ナンバーワンと言われる八木稔先生がおっしゃっている。血液検査で過酸化脂質は測れなかったのが、この先生が独自の測定方法を編み出して、私も含め世界中の学者が彼のところに

つめかけました。

その先生いわく、コレステロール、中性脂肪そのものはなんら悪さはしないと。これが活性酸素で

がん化され過酸化脂質になって初めて悪さをする。血液のなかでコレステロール、中性脂肪が活性酸素で酸化される。そこに過酸化脂質ができる。そして血管の壁の内

壁にへばりつき、血管の壁の中にじわーとしみこんで行く。そして1、2年たつて、血管の壁を中から破壊していく。これが頭の血管

なら中風。心臓の血管なら心筋梗塞。

今ね、厚生省の資料を見ていたら、お医者さんにかかる患者さんの5割から6割がね、コレステロールの高い患者さんなんですよ。10人いると8人が高い。今の、コレステロールと中性脂肪の正常値は

ちよつと低すぎるんです。もう3割くらい上げないと、みんな病気になることになってしまう。コレ

ステロールが高いという疾患は、お医者さんの保険の点数を上げるいちばんの方法なんです。

昔は、コレステロールというのは薬でなかなか下がらなかった。今から17、8年前までは何の薬もなかった。17、8年前にメバロチンという薬が出ました。これがめちゃくちゃ効き、数値が一気に下がるんです。ところが翌年、厚生省の調査で分かっただけで34人、急性腎炎になってしまったから

気をつけるようにと。私はそのとき、やっぱり効く薬は怖いなと思いましたが。使い始めた最初の年だけで34人も副作用が出たんですから。

急性腎炎になったら、15年で人工透析ですよ。そのあとはほかに何もするすべがなくなってアウトなんです。人工透析にならないように、活性酸素を叩いて、中風、心筋梗塞を作らないよう、SODなどの抗酸化物を摂るようにすることです。

天然の植物の中に 活性酸素を除去する 物質は与えられている

◆漢方の言葉にこういう言葉があります。

同病(証) 異治

ひとつの病気になる漢方薬を使つて、異なる結果が出る。治る人と治らない人がいる。とても非科学的な表現なのだけれど、これは確かにあるんです。とにかく、効く人と効かない人との間にどんな差異があるのかと。私は息子が亡くなってから27年間考えてきました。神様は人間や動物を作られたとき

に、お前たちが食べている食事、木の葉っぱ、木の芽、木の実、木の根っこ、天然の食事のなかになんにも効くものも、活性酸素に効くものも、難病、膠原病に効くものも、みんな食品のなかに与えてあげていると。それをお前たちが食べて、

体の中で活性型にして薬にしなさいよ、それで病気から体を守りなさいよと。だから原始人にガンもなければ成人病もないんです。

医食同源という言葉があります。昔はお医者さんなんかいないから医というのは薬のこと。薬と食事は同じものだと。食べているものが薬なんだと。ところがなんで人

SOD様作用食品 体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒154-0012 東京都 世田谷区
駒沢 5-13-1-205

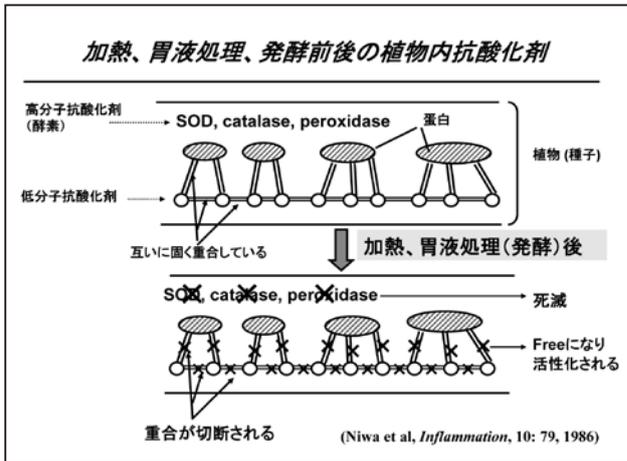
日本SOD研究会 藤沢宛

TEL 03-5787-3498

までご一報ください。

間だけががん、膠原病、難病に
かり始めたかということになる。
私は27年間いろいろなやつてきま
してね、結局到達したことはこう
いうことです。

天然の植物、木の芽、木の根、
木の実の組織図は、みんな正の形
でつながれているんです。タンパ
ク質が手をつないでいるんです。
(左図参照) 天然のままでは活躍で
きない、非活性型なんです。



木の葉っぱが仮に活性型だと、紫
外線が降ってきて活性酸素をば

んばん出してしまふ。人間や動物
がそれを食べると病気になってし
まう。ところが植物は非活性型で
紫外線を跳ね返すから、人間や動
物は食べられるんです。しかし、
食べたら強力な胃液で重合型の
チェーンを切って、自由な活性型に
して身体の中で吸収させないと意
味がないんです。原始人はそうやっ
てきた。

ところが、人間は、幸か不幸か
火を使うことを覚えた。調理を始
めた。食事が柔らかくなった。食
べるときに以前ほどあごを使う必
要がなくなった。おのずと唾液や
胃液がそんなに活躍する必要もな
くなった。そうしている間に、唾液、
胃液が退化し始めた。神様がせっ
かく、あなたたちはあごで噛んで
咀嚼し、唾液をよく出して、強力
な胃液でこのチェーンを切りなさ
いと言われたのに、切る力がなく
なったんです。野獣や家畜は依然
として生物や草、木の芽、木の根

を食べています。

私はある実験をしました。3本
試験管を立て、1本は朝、獣医さ
んに馬の胃液を抜いてもらって入
れたもの、もう1本は漢方薬がば



ちーんと効く人の胃液をもらって
入れたもの、最後に皆さんと同じ
普通の人の胃液を入れました。
そこに大豆、ゴマ、胚芽などを
微粉末にして入れ、胃袋と同じ状
態の37度の保温器に入れて3時間

置いておきます。保温器から出し
て、遠心器にかけて、粉を下に落
として、胃液を捨てて、下に溜まっ
た粉を調べたんです。牛や馬の胃
液につけた粉と、漢方が効く人の
胃液につけた粉を調べたら、チェー
ンが全部切れていた。普通の人の
胃液につけた粉はチェーンが切れ
ていなかったんです。ということ
は、漢方薬が効くわずかの人は原
始人の胃液を持っているんです。
胃液が退化していないんです。

私の抗酸化食品の原料は大豆、
ゴマ、胚芽とかです。そこらへん
にいくらでも安く手に入るバカみ
たいなものばかりです。成分表示
といわれるとお恥ずかしい次第で
す。

ところが、僕の抗酸化食品は加
工方法が違うんだと言いたいわけ
です。チェーンを切るんだと。ど
うやって切るかと。糠に熱を加え
ると表面が焦げてしまつて芯まで
熱がいかない。芯まで熱が行って

表面が焦げない、がんに効く成分は焦げたら壊れますから、当時、遠赤外線なんか何もない時代に、花崗岩で土鍋を作つて、炭で3時間、4時間炒つた。そしたら表面

<SOD様作用食品の内容>

大豆、ゴマ、胚芽、糠(ヌカ)、ハトムギ、抹茶、ゆず汁

(Vitamin E、C、フラボノイド、カテキンなどの低分子抗酸化剤が大量に含有されている)

がまったく焦げずに、芯まで熱が通つてこんがり焼けたんです。

そこに麴をかけて発酵させる。硬い大豆も発酵すると柔らかくなり、さらにアミラーゼ、プロテアーゼが出る。たんぱく分解酵素が出る。だからきれいにチェーンを切つてくれる。それを油剤化して完成

です。

遠赤外線焙煎、麴発酵、油剤化。これが私が作っている抗酸化食品。SODもちろんそうです。それ以外にも十何種類あります。

丹羽療法の天然の制癌剤

- (1) 冬虫夏草 — Cordycepin (dideoxynucleoside)含有
DNA, nucleotideが5'→3'で結合して増殖して行くのを、cordycepinは3'-OHを欠くため、5'→3'の連合が不可能となり、(癌の)DNA合成がstopする(図参照)
 - (2) オンコの木 (紅豆杉) — (天然の)化学物質、taxol含有
 - (3) Tecoma-i-mart(Tim) — (天然の)化学物質furanonaphthoquinone含有
 - (4) ピワの種 — KCN(シアン)含有
 - (5) アガリクス — β-glucan含有
 - (6) H-TT — 茯苓、牛黄、檳榔、大黃、食滑石、Harpago(カラハリ砂漠産)
- 以上をいずれも遠赤外線焙煎、こうじ発酵、油剤化して、含有制癌物質が重合、非活性型で天然に存在していたものを、free form、活性型にしたものである。
- (7) 成分尿療法
 - (8) 遠赤外線サンドバス入浴療法 } も入院患者には併用している

それが私のこの論文の結論であります。

抗がん剤でがん細胞を叩いたら人間の細胞のほうに先に死ぬ

◆私ね、医者になって50年ですが、医大を卒業して最初の23年、がん

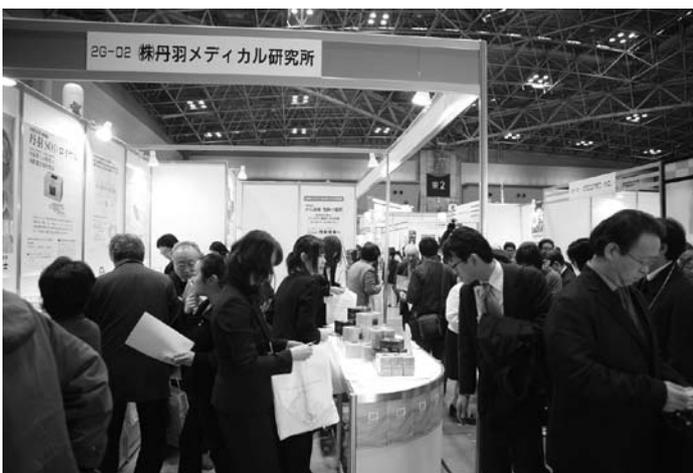
患者を何百人と診ました。進行が、ん、末期がん、みんな死んでいきました。直接がんで死んだ人はひとりもいません。直接の死因はみんな抗がん剤。あたりまえです。

抗がん剤を投与すると患者さんはゲーゲー吐きながらしんどいと訴えます。そうすると医者は、検査のデータを見せて、あんた何を言ってるんだ。このとおり抗がん剤のおかげでがんが小さくなっているのにと、マーカーの数値が下がっているのを見せられて患者さんは「すみません、ありがとうございます。ありがとうございます」と感謝する。そこでまた抗がん剤を投与され、その副作用でゲーゲーやる。人間が死にかかったら抗がん剤をやめる。そうするとがん細胞はどんどん大きくなってマーカーの数値が3倍4倍になる。するとまた抗がん剤をやる。患者さんゲーゲーなる。「先生もうやめてください」という。「何を言っているんだ、マ

カーが下がったじゃないか。「あ、ありがとうございます。ゲーゲー」。また途中でやめる。マーカーが上がる。またやる。「ゲーゲーありがとうございます。こんなことを繰り返しながら苦しんで死んでいかなければならないんです。

がん細胞のほうが絶対に人間の細胞よりも強い。絶対にがんよりも人間のほうが先に死ぬ。それは自然の摂理であります。

僕はそんなこと分かっていただけ



ど、卒業して23年。大学でもこれしか教えてくれないし、教科書にもこれしか書いてない。だから何百人ものがん患者さんが抗がん剤でみんな苦しんで死んでいくのを見届けるしかなかったんです。

息子の生き地獄を 見たことで医者の方に 気づかされた

◆卒業して23年間は、何百人という数のがん患者に会って、みんな抗がん剤で苦しめて殺したんです。それをみていた神様が、私から抗がん剤をやめさせるためには、自分のいちばん可愛かった子供の、この世の最悪の生き地獄を見せないと、私は抗がん剤を止め



ない、と思われたのでしょうか。そのことは、私の著書「白血病の息子が教えてくれた医者の方に」に詳しく書かれています。私はね、息子が死ぬ27年前までは、患者さんが抗がん剤で死ぬのは当たり前だと思ってきました。患者さんの家族を呼んで、ご主人はがんの末期でどうしてもダメだと言ってきたけど、一生懸命にやってきましたけど、もう胃の出口が、がんでふさがっている。だから何を食べさせても吐きますよ。坐骨の骨にもがんができて、痛み止めはなにも効きませんよ、あきらめてくださいと言おう。そうすると10人中5人はあきらめきれない。患者さんがいっぱい待っている私の診察室に入ってきて私の袖を引っ張って「先生、うちの父ちゃん、痛い痛いって苦しんでいる。なんとか痛くないようにしてくれないか、もう3日も何も食べてないから、おかゆくらい食べられないか」と。3時間前

に胃の出口が全部閉鎖された、と言っているのに何がおかゆひと口だと。坐骨にガンができてくるから痛みは取れないと言っているのに、まあ、物分りが悪いなあと思っていました。私の診察は終わるのが夜の10時、11時です。それから末期がん、進行がんの患者さんのケアをしなければならぬ。あそこが痛い、血が出た、吐いたと看護婦さんから電話がかかってくる。それを12時くらいまで指示したりして、それから勉強、研究を始めるんです。僕は30年間寝るのは夜中の3時。だから、物分りの悪いご家族の話を聞いていたら寝る時間がなくなってしまうわけです。これはとんでもない、生きていけないと、僕は逃げていました。

どうかお願いです、助けてください、その心しかないんです。この本はお医者さんになる人間は絶対に読まないといけない。忘れたらだめ。自分がそうになったら、患者さんの家族がうろたえることと同じことをやるんですよ。それを医者には絶対忘れたらいけない。とにかくね、今まで何百人の患者さんががんでみんな苦しんでいく姿を見てきましたよ。しかし、うちの子供の剛士ほどの地獄は見ることがない。抗がん剤の副作用でガリガリに痩せてあばらが浮き上がって、骸骨でした。骸骨がベツトの上で暴れて「父ちゃん痛いよ、助けてくれ」と。出血を止める血小板が、抗がん剤でほとんどゼロ。亡くなる二ヶ月前、身体中、お尻も太もももみんなむらさきの斑点。口は血の固まり、肛門の出口は血の固まり、胃と腸も抗がん剤でぼろぼろ。お茶一滴飲ませてもギャー！って言うんです。亡く



白血病の息子が
教えてくれた
医者的心 丹羽鞠負著
草思社刊 207 ページ
ISBN-10: 4794208243

幼い長男に白血病の宣告。抗がん剤の副作用に苦しんでいるのに、医師は何もしない。患者は死を覚悟して、初めて医師の深い悲しみを知らされた。著者が、医師の生き方を厳しく問い直す。

なる一ヶ月前、僕はもう腹をくくつて病室にいっしょに泊まった。夜の12時に「おなか痛い、助けてくれー」言うんです。どれだけ助けてくれ助けてくれと言っても、抗がん剤やるたびにのたうち回る。痛み止めの効きも、10時間が5時間、3時間、1時間とどんどん短くなっていく。痛み止をあまり飲ませると、胃腸が麻痺して腸閉塞で死んでしまうんです。注射は4時間空ける。すると効いていない3時間、何もしようがないんです。父ちゃんは医者で何でも治してくれるはずなのに何もできない。父ちゃん苦しい、助けてくれーと、3時間。こっちはじっとしていら

れず、よっしゃ剛士、待つとれよ待つとれよと言って気合い入れてね、剛士のベットの回りを走るんだ。天下の丹羽先生ができたのはそれだけ。亡くなったのは7月24日。亡くなる3日4日前、もう僕はこの世で最悪の生き地獄を見ました。うちの子供は目がまんまるでかわいかった。その目玉の筋肉が、繰り返しの抗がん剤でもうボロボロになってきた。がんが脳へ転移して、亡くなる4日前、あのかわいかった子供の目玉がね、4センチから5センチ前方にゴトンと突き出されたんです。生きたままです。目玉くるくるくるくる回りながらね「父ちゃん母ちゃん苦しいよー助けてくれー」と言うんです。「父ちゃん母ちゃん苦しい

よ助けてくれー」。24時間バツバツタ暴れる子供を抱きかかえるうち4日目に剛士の肩が抜けた。ガクン。見たら、わーっと吐いた血の海の中にバチャーと突っ伏していた。高速道路でダンプカーにひかれた猫とまったくいっしょ。何もしないでこうなったんではないんです。天下の大病院に1年3ヶ月いて、最高医療という治療をやってきた結果がこれでした。私はこれを見たときに、何が東大病院じゃ、何が国立がんセンターだ、くそくらえと思いました。何にもするが気なくなり、完全に放心状態。昔、僕は子供とまったく遊んでやれなかった。遊んでやったのは病気になってからでした。そうしたら剛士は喜んでね、自分死ぬこと知らないから「お父ちゃん、僕今度いつ帰れる？」「今度帰ったら遊ぼう」とそんなことばかり言うんです。この子は、もう3ヶ月で死ぬ。絶対死ぬん

だ。お前お父さんとかうやって遊べるのもあと3ヶ月なんだと言いたいけどそんなん言えない。子供は無邪気だからむちゃくちゃ喜ぶ。ああ、こっだけ喜んでくれるんだったら元気なときにいっしょに遊んでやればよかったといつても後の祭り。子供死んだら誰でもつらいけれど、それ以上につくりきて、お父さんが男の子の手を引いている姿を見るのもいやでね、托鉢坊主になって全国を供養して歩こうと思ったんです。ほんとに托鉢坊主の用意したんですよ。そうしたら、亡くなった剛士の十字架に甘えるなという剛士の声が聞こえてきたんです。苦しんで亡くなっていくがん患者さんが、全国に何万、何十万といるんだと。また、別れを惜しんだ私の様に一生、心の悲しみを残している家族が全国に何万、何十万といるんだと。そういう気の毒な患者さんや家族を一人でも一組でも救って

くこと。それが私の生きていく道だと思っただけです。

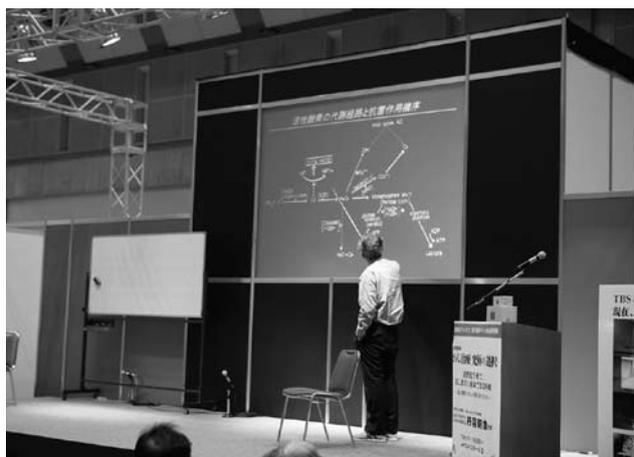
抗がん剤の成分は毒ガス 苦しんで死ぬのは 当たり前

◆確かに今の抗がん剤治療、これは絶対ごめんです。といっても漢方、健康食品も副作用はないけど、剛士みたいな進行がんには効かない。お医者さんは、何をやっても効かない末期のがん患者さんのことは完全に投げるんです。痛み止めとブドウ糖、ビタミン剤なんかの点滴しかしないんです。

もう少しいいものはないか、効かないのなら、どうしたら効く加工方法があるのか。それに私は命をかけたんです。剛士が亡くなって27年。十何億というお金をかけて必死になって研究してきました。紆余曲折な思いをしました。

この5、6年前からは、がんセンター、大学病院で、余命3ヶ月と

いわれた患者さん10人来る。うち3人は死にます。しかし2、3人は助かります。あと4、5人は死ぬのは死ぬけど3ヶ月で抗がん剤の副作用で苦しんで死ぬことなく、半年、1年苦しまずに生きます。そういう治療法を開発しまして、今は、250人のお医者さんが私の



門下に入って丹羽療法をやっているみたいです。

僕は、西洋医学をやってきているから、抗がん剤もステロイドも漢方も使います。CTもとるし、

血液の検査もします。科学的根拠のもとに診断治療して、5%は化学薬品使いますよ。でも薬の95%は副作用のない漢方の薬を、非常に効くように加工した副作用のない薬を使っています。特許も二十数種類とって、札幌から沖縄まで全国で3万から4万人のがん、膠原病、難病、アトピーの患者さんを診ています。これが私の日常であります。ここで、私が27年やってきたがんの治療の最近の集大成をお見せしながら終わります。

癌の縮小効果は延命効果にならない

- ◆ 抗癌剤で、CT、レントゲンで腫瘍が小さくなり、マーカーが改善しても、腫瘍がゼロになるまでに副作用が出て中止し、再び悪化し、また抗癌剤を使用し、また腫瘍が縮小し……、を反復し、結局、抗癌剤の副作用で死亡し、抗癌剤未使用例と比較し、延命効果はない。
- ◆ 延命効果があるのは、表の①②と③の乳癌(6~12ヶ月)、卵巣癌(1~4年)、胃癌(10ヶ月)、大腸癌(6ヶ月)。
- ◆ 表④、⑤の内臓の癌の大半には延命効果なし
- ◆ 欧米の癌専門医は、first choiceに抗癌剤を使わない (別のスライド参照)

(ここで、会場には重度の火傷、アトピーなどの患者さんの患部が、丹羽療法で治っていき過程のスライドが次々と映し出されました)

①抗癌剤あるいは放射線療法で治療、長期延命の癌(主に血液の癌)	小児の急性リンパ性白血病(ALL)、小児の急性骨髄性白血病(AML)、初期の悪性リンパ腫、慢性骨髄性白血病(CML)、慢性リンパ性白血病(CLL)、絨毛腫瘍、小児の脳形腫瘍(肉腫)、精囊癌、肺の小細胞癌で限局性のもの、限局性の食道癌、喉頭癌、咽頭癌
②手術だけで治療する癌	乳癌、子宮癌、直腸癌、甲状腺癌、精囊癌、前立腺癌*、リンパ節転移もない肺癌と胃癌
③(実死を回避する)抗癌剤である程度延命効果がある癌	乳癌、卵巣癌、胃癌、大腸癌の術後再発(6-12m)(1-4 (10m)(4.5m)yr)
④抗癌剤をしても短期間しか延命しない癌(延命効果のない癌)	肺癌(限局性の小細胞癌を除く)、限局性でない喉頭癌、咽頭癌、食道癌、腎臓癌、肝臓癌など。再発・転移した子宮癌、甲状腺癌(→未治療群より1~5ヶ月延命)成人T細胞白血病、盲腸癌、十二指腸癌、副腎癌
⑤どんな抗癌剤治療でも早期に死に到る癌	膵臓癌、胆のう癌、胆管癌。(数は少ないが)胸腺中皮腫、悪性繊維性組織球腫(MFH)、成人の(消化管以外の)肉腫

*手術せずホルモン剤で治療する場合は多い

右の表は「抗がん剤で治るがん、治らないがん」の区分けです。

まず、1番。これは今、抗がん剤が効くものです。10人中6、7人は効きます。そして10年、20年生きられます。だから、やりたい人は抗がん剤治療をしてください。ただ、3、4人は効きません。効かない人に抗がん剤をやっても苦し

SOD様作用食品とは 丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力を握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや成人病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が



存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいため、内服しても胃で破壊され、腸から吸収されませんでした。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽勲負（耕三）医学

博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときに、ご息子を白血病で亡くされ、それをキッカケにSODの研究を始めました。副作用がまったくないがん治療薬、がテーマでした。開発には実に二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治療力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの。私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は今も、土佐清水病院院長として、毎日、医療の現場でがん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたっています。また、SODなどを始めとする論文は海外でも高い評価を得、日本のみならず海外の学会で講演をしたり、大病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送っています。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです。

丹羽療法を知る一冊

◆ブックガイド◆

「がん治療 究極の選択」

講談社

「丹羽SOD様作用食品摂取者の体験報告」日本SOD研究会

「丹羽博士の正しいアトピーの知識」

廣済堂

「天然SOD製剤がガン治療に革命を起こす」

廣済堂

「白血病の息子が教えてくれた

医者的心」草思社

「安心の医療・本当の健康」

みき書房

「クスリで病気は治らない」

みき書房

「医は仁術なり」

至知出版

「丹羽療法全国のアトピー患者が信頼するこれだけの理由」

リヨン社

「SOD様作用食品の効果」

小冊子

